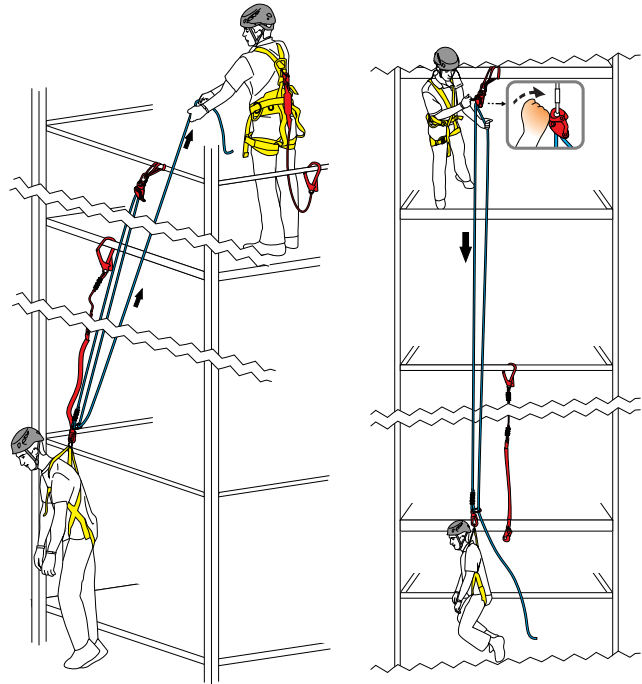


レスキュー

高所で作業する場合は、あらかじめ適切な救助装備を準備し、作業員を訓練しておき、墜落後にハーネスにぶら下がっている作業員を迅速に救助できるようにすることが必須です。負傷者の迅速かつ効果的な救助には、作業員による作業の効率化が不可欠です。多くの場合、第三者による組織的な救助（消防隊など）に時間がかかりすぎるため、要救助者にとってより悪い結果を引き起こす可能性があります。重大かつ差し迫った危険（火事、強風、暴風雨）が発生した場合に、作業員の自己避難のために設計されたシステムを提供することも同様に重要です。

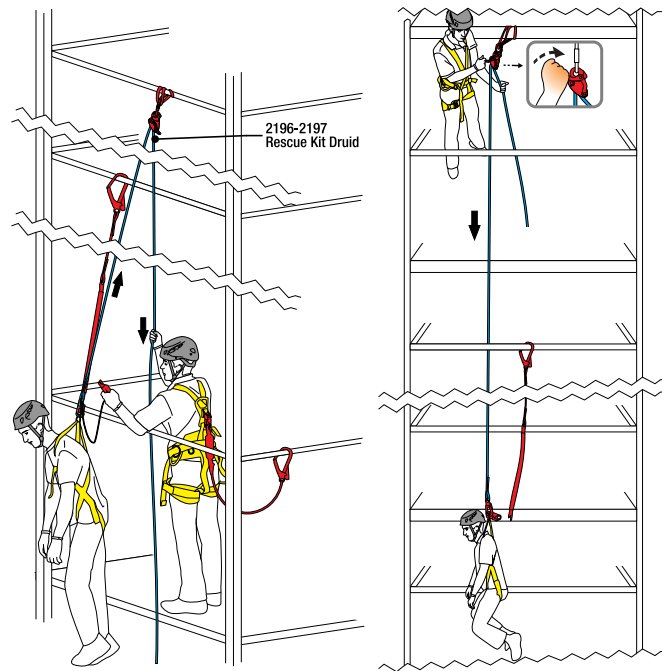
足場またはその他の垂直構造物での救助活動の場合、最善の解決策は、事故が発生した場合にすぐに使用できるキットをあらかじめ用意することです。【図17a～c】

17b RESCUE KIT DRUID



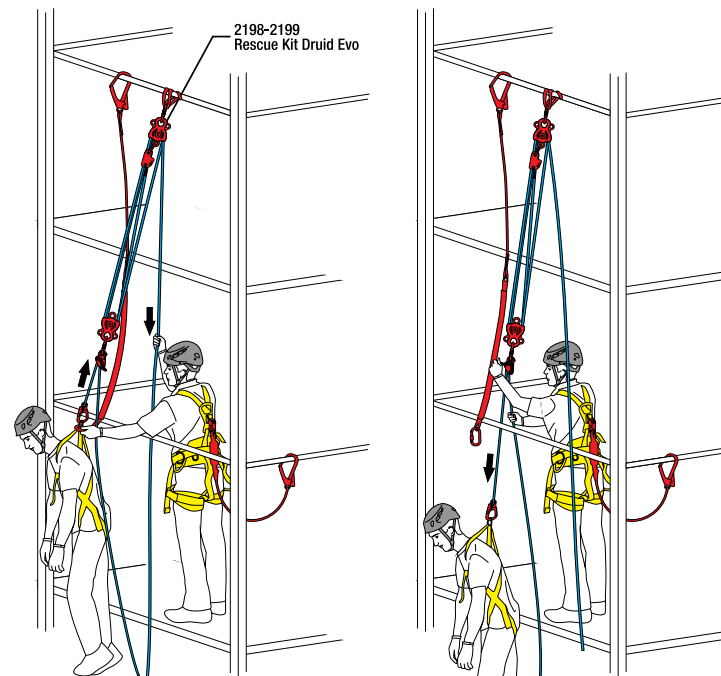
Rescue Kit Druidを使用して、倍力システムを作成し、救助者が要救助者を引き上げて、テンションのかかったランヤードを切断せずに取り外すことができます。

17a RESCUE KIT DRUID



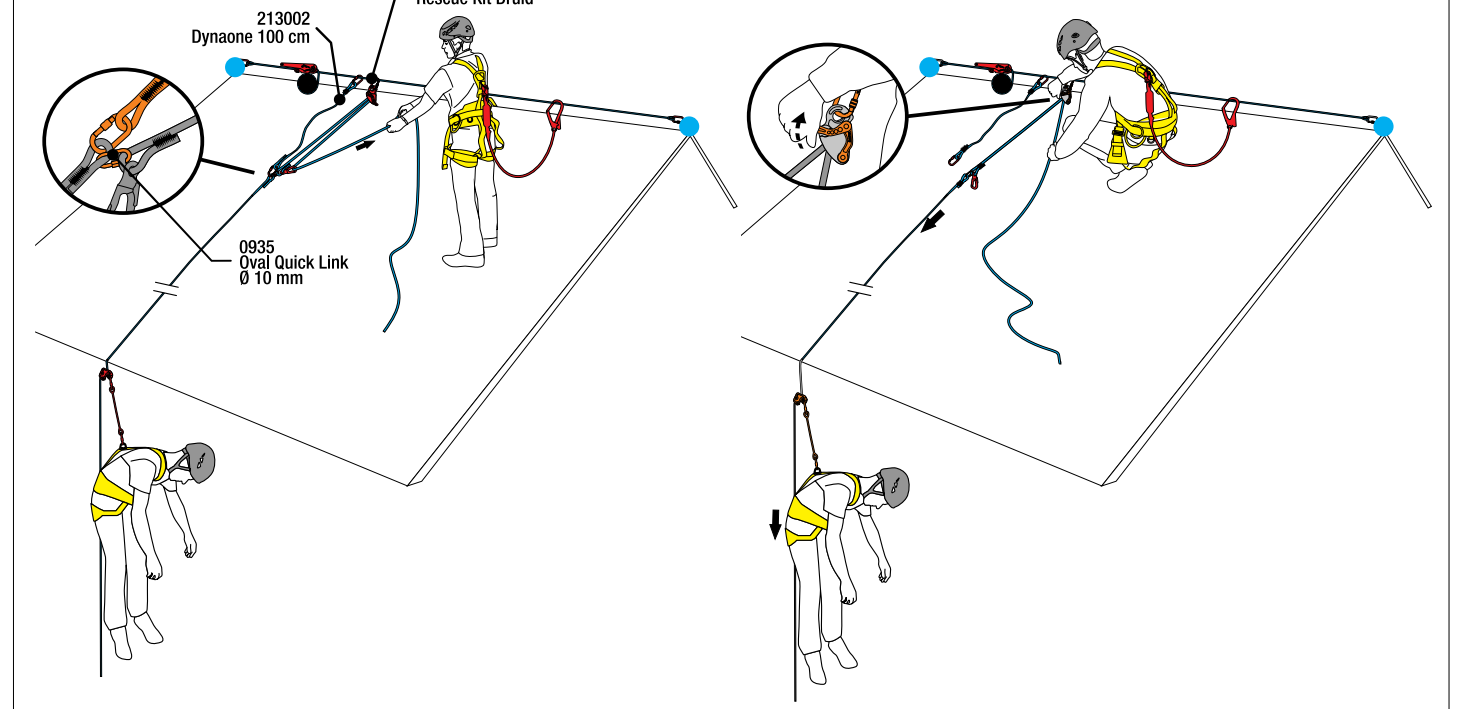
Rescue Kit Druidを使用すると、すばやく簡単に救助できます。要救助者の上部に固定し、要救助者に接続し、要救助者の接続されたランヤードを切断し、要救助者を地面に降ろします。

17c RESCUE KIT DRUID EVO



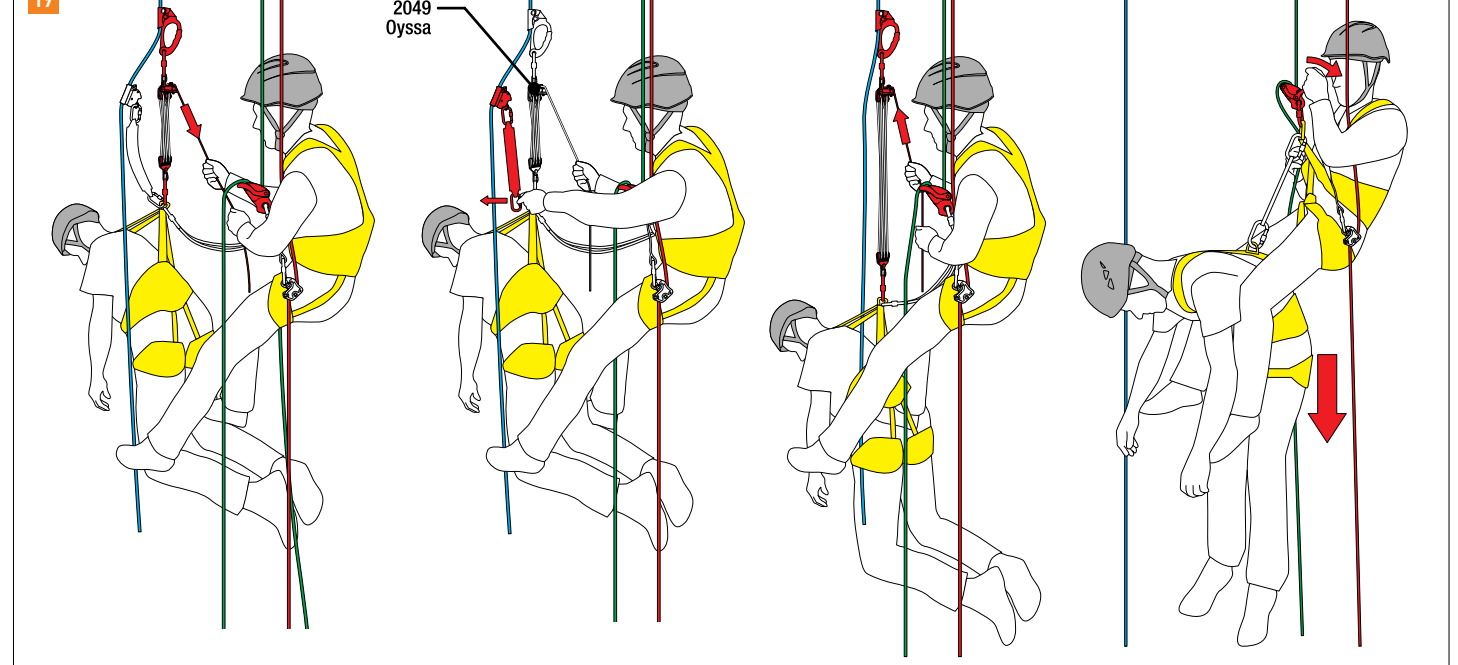
Rescue Kit Druid EVOは、より効果的な倍力システムによって同様な作業を可能にします。

18 RESCUE KIT DRUID



屋根上で作業する場合、効率的な救助を行うために、アンカーポイントと作業者の接続システムの間追加のランヤードを接続することができます。端を越えて落下した場合、レスキューキットドリュイドを使用して要救助者を引き上げ、追加のランヤードを取り外し、要救助者を地面に降ろします。

19



ロープアクセス技術を使用して救助を行うには、高度な技術スキルが必要で、それには適切なトレーニングが不可欠です。救助者は、2人の体重に耐えられるディセンドラーとバックアップデバイスを装備する必要があります。要救助者を持ち上げてロープを外すには、Oyssaなどのコンパクトなリフティングシステムの使用が推奨されます。